日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

裾野麗峰山の会 (sine１９９４)

第２７期・９巻　　２０２１年　１２月号　　ＮＯ．244

仲間と仲間を結ぶ機関誌

すぽう

Susono Reihou Alpine Club

雪の記憶

山行ＮＯ．１９５２
２０２１．１０．３０
富士山山頂

２０２１年度・１２月度例会資料　　２０２１、１２．０４

報告・当面の予定

１０月１７日（月）・・・乾徳山　２名

２１日（木）～２２日（金）・・・横谷渓谷、天狗岳・西尾根　４名

２３日（土）～２４日（日）・・・東富士山荘　２名＋ほか

２９日（金）・・・Ｇ尾根～位牌～鋸　２名

３０日（土）・・・富士山頂（登頂２名）　３名

１１月０３日（水）～４日（木）子檀嶺岳（こまゆみだけ）　４名

０６日（土）・・・五郎山　３名

０７日（日）・・・東部ブロック・交流ハイキング＝沼津ＡＬＰＳ　全１６名

１３日（土）・・・御坂・王岳北尾根　５名

１２月１１日（土）・・・忘年山行＝湯河原・幕山

２５日（土）～２８日（火）好天日・・・冬山合宿＝唐松岳

０１月０８日（土）・・・初登山＝城山～発端丈山（電車で行く山）

２．寄贈会報とピックアップ

「やまなし山の会会報」　山梨・山の会　11 月号　NO.294　電子版　P23

報告＝大蔵経寺山・第四回公開ハイキング（会員２７名、一般９名）、第一回登山教室・金峰山（１０名）、日向八丁～甲斐駒（石室泊）、北海道、東北の沢、など多数

「あしたか」　沼津勤労者山岳会　１１月号　NO.表記ナシ　P9　電子版

計画＝塔ノ岳、満観峰、入笠山、玄岳など、報告＝瑞牆山、杓子山。写真が良くなった。

「あさぎり」　あさぎり山の会　１１月号　NO.337　A4 判　p34　紙製本

報告＝木曽駒、那須岳、涸沢、栗駒山、五竜岳、二子山・西岳など。安全登山講習会。

「くろゆり」　三島勤労者山岳会　2021/10/01　NO.501　P９　電子版

報告＝定例クライミング・鬼石沢、運営委員会議事録、山行実績、など

「のいちご」　伊豆ハイキングクラブ　11 月号　NO.409　P18　電子版

報告＝運営会、石割山・八ッ・茅ヶ岳・宝永火口・栗駒・安達太良・七時雨山・至仏・乗鞍・焼岳・谷川岳、など

猛毒、触るだけで被害

カエンタケ注意

全国で発見相次ぐ

猛毒のキノコ「カエンタケ」が山だけでなく、千葉県など各地の公園や住宅街でも相次ぎ発見されている。他の毒キノコは食べた場合に危険が伴うが、カエンタケは触るだけでも皮膚がただれるなどする。専門家は「できるだけ触らず、触ってしまった場合はせっけんで手洗いをしてほしい」と呼び掛けている。

厚生労働省などによると、カエンタケはオレンジ色や赤色で、細長い棒状に枝分かれした形が特徴。致死量は3g。食後すぐに発熱や嘔吐（おうと）などの症状を起こし、後に消化器不全や脳神経障害で死に至る場合もある。2000年には、群馬県で食べた1人が死亡した。千葉県茂原市では今年8月、公園内を巡回していた市民ボランティアが沿道で発見。他にも複数箇所で見つかり、市職員が除去したり「触らないで」と書かれた看板を園内に設置したりした。9月には、福島県南相馬市の公園や山梨県山中湖村の住宅地などでも発見された。

カエンタケ（厚労省HPより）

「ナラ枯れ」と呼ばれる特定の虫が媒介する菌で枯れた木の根元付近で、カエンタケは発生することが多い。大阪市立自然史博物館の佐久間大輔学芸員によると、カエンタケが多く見られるようになったのは2000年代から。戦後、薪の需要が減り、樹木が伐採されなくなったことで太く成長する木が増え、害虫を呼び込んだ結果とみられている。ピークは7～9月だが、今年は秋の長雨がなく気温が高かったことから、佐久間学芸員は「10月以降も出る可能性が高く注意が必要」と指摘している。

10/11

切り抜き帳

静岡新聞から転載

10/22

大井川 最初の1滴求め

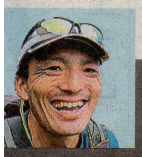
焼津・大畑さん 挑戦動画に

河口→南ア 42時間166キロ走破

母なる自然「身近に感じて」

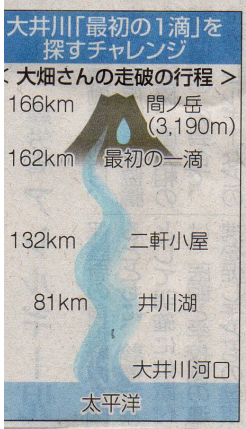
静岡市消防局牧之原消防署の特別救助隊に所属する大畑匡孝さん(36)＝焼津市＝がこのほど、チャレンジ「ゼロ・オオイガワ」と銘打ち、大井川源流部の「最初の1滴」を求めて河口から南アルプスの間ノ岳（標高3190㍍）まで走破した。「大井川の水の恵みの背景にある手つかずの自然を知ってほしい」と、42時間、166㌔にわたる過酷な旅の様子や山岳風景を撮影し、動画投稿サイトユーチューブで公開している。

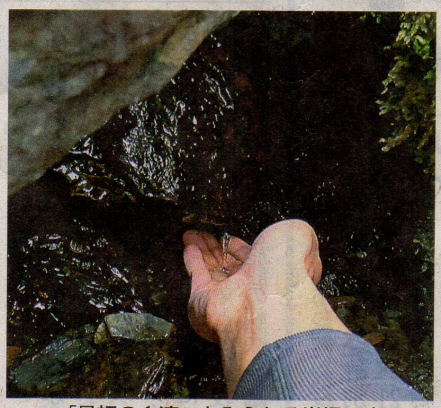
大井川をさかのぼりながら進み、農鳥岳、間ノ岳の



山岳救助隊としても活躍し、国内のオリエンテーリング大会で優勝経験を持つ大畑さん。新型コロナウイルスの影響でイベントの延期や中止が続き、ことし参戦した山岳レース「トランスジャパンアルプスレース」（TJAR）も中止となる中で「他人と接触せずに1人でできる挑戦」として2年ほど前から温めていた個人レースを実行に移した。

8月29日午後6時半に焼津市の大井川河口を出発し、夜通し川沿いを走って翌朝井川湖を通過、夕方には南アルプス登山の起点でリニア中央新幹線トンネル工事現場でもある二軒小屋近くの千古の滝に到着した。テントで仮眠後、31日未明に沢登りを開始し、昼すぎに最上流部の「三国沢」をさらに進んだ間ノ岳山頂付近（標高約2900㍍）で「最初の1滴」とみられる岩場にたどり付いた。したたり落ちる冷たい水を飲み、周囲の雄大な景色を動画に収めた。





「最初の1滴」とみられる岩場の水

〝道なき道〟を進む行程は体力を消耗したが「迫力ある映像が撮れ、普段のレースでは味わえない充実感だった」と話す大畑さん。静岡市が「オクシズ100選」としてPRするつり橋や眺望スポットなども紹介した。「南アルプスを身近に感じ、自然を守ることにつながればうれしい」と話している。

動画はユーチューブ内の「なっちゃんのランラン日記」で公開している。

（島田支局・中村綾子）

第４回・南アルプス写真展終わる　　11/2～7　　静岡市民ギャラリー展示室

日本山岳会・静岡市岳連・静岡県岳連・静岡県労山＝約 150 点（労山 58 点・819 来場）

後藤の作品

静岡県勤労者山岳連盟

第4回南アルプス写真展-作品データ

2021年10月29日　担当：江藤幸夫

	出品者	No	タイトル	撮影場所	撮影年月日	サイズ	額
1	01	1	戸台川から甲斐駒ヶ岳	戸台川	2011年1月2日	A3	220
2	後藤隆徳	2	甲斐駒ヶ岳 Ⅰ	駒津峰	2013年12月29日	A3	220
3		3	甲斐駒ヶ岳 Ⅱ	坊主尾根	2004年12月30日	A3	220
4		4	甲斐駒ヶ岳 Ⅲ	甲斐駒ヶ岳頂上直下	2013年12月29日	A3	220
5	02	a	日陰の登攀Ⅰ	尾白川滑滝沢	2016年2月5日	A3	220
6	小林敏之	b	日陰の登攀Ⅱ	甲斐駒ヶ岳奥壁	2014年9月14日	A3	220
7	090-1108-8959	c	登攀を終えて	尾白川を抜けた尾根上	2016年2月5日	A3	220
8	03	a	ラクダの背を渡る	赤石岳ラクダの背	2019年12月29日	A3	220
9	森下栄治	b	赤石岳稜線のラッセル	赤石岳稜線	2019年12月29日	A3	220
10		c	晩秋 信濃俣	百俣沢の頭付近	2019年11月3日	A3	220
11		d	光岳を望む	イザルヶ岳	2019年11月2日	A3	220
12	090-5002-4094	e	赤石岳 厳冬	赤石岳への稜線	2019年12月29日	A3	220
13	04	1	ひっそりと千頭ダム	寸又ダムサイト	2020年11月10日	A3	220
14	原田信義	2	百閒平～兎岳の秋	百閒平	2017年9月30日	A3	220
15		3	二軒小屋 田代湖	田代湖	2021年8月1日	A3	220
16		4	初冬の合地山と池口岳	六呂場付近	2013年11月3日	A3	220
17	090-7679-0661	5	日向山と八ヶ岳遠望	日向山山頂直下	2021年5月28日	A3	220
18	05	1	笊ヶ岳・布引山遠望	荒川岳	2019年10月5日	A3	220
19	志村明美	2	アサギマダラと高嶺の花	二軒小屋～西俣	2021年8月1日	A3	220
20		3	黒法師岳の晩秋	黒法師岳中腹	2016年11月6日	A3	220
21		4	リニアの前工事で積まれた排出残土	二軒小屋～西俣	2021年8月1日	A3	220
22	090-5628-5964	5	荒れた後の地に最初に根ずくと云われる泥の木/この棘のある植物(名前を教えて)	二軒小屋～西俣	2021年8月1日	A3	220
23	06	1	横窪澤小屋の晩秋	横沢小屋	2020年11月1日	A3	220
24	遠藤春代	2	雨中の防鹿柵設置作業	荒川岳	2021年7月10日	A3	220
25		3	遠望 南アルプス	山伏山頂	2021年2月19日	A3	220
26		4	オオサクラ草/イワカガミの道	千枚小屋付近	2021年6月20日	A3	220
27	054-296-0983	5	紅葉真っ盛り	畑薙大つり橋	2020年11月1日	A3	220
28	07	1	凍てつく聖、上河内岳	茶臼岳稜線	2018年3月18日	A3	220
29	竹本幸造	2	南アルプスの玄関口から望む茶臼岳	畑薙第一ダム	2021年8月1日	A3	220
30		3	幸福のシンボル紅天狗茸-毒/小岩鏡と登山者	樺段付近	2015年8月28日	A3	220
31		4	晩秋の荒川小屋と小赤石・赤石岳	前岳からの下りで	2012年10月8日	A3	220
32	090-7600-2513	5	晩秋の上河内岳	聖平付近の稜線	2016年9月25日	A3	220
33	08　海野美春	1	今は毎秒3トンといわれる水量だがリニア工事でどうなるのだろう？	田代	2021年8月1日	A3	220
34	09　森　英子	1	西俣を辿るとあちこちで崩壊が進んでいる	西俣	2021年8月1日	A3	220
35	10	1	北岳山荘の朝	北岳山荘	2010年7月25日	A3	220
36	永田一雄	2	頂きの歓声	北岳山頂	2010年7月25日	A3	220
37		3	星・雲・山	北岳山荘	2010年7月25日	A3	220
38		4	キツリフネ草/お花畑	北岳大樺沢	2010年7月24日	A3	220
39	090-7042-0505	5	ミヤマハナシノブ/ミヤマムラサキ	北岳大樺沢	2010年7月24日	A3	220
40	11	1	単独行	小仙丈ケ岳～仙丈ケ岳への稜線	2011年1月9日	A3	220
41	毛利秀子	2	甲斐駒ヶ岳・駒津峰・双児山を見る	戸台川	2011年1月10日	A3	220
42		3	鳳凰三山を背に仙丈ケ岳を目指す	小仙丈ケ岳～仙丈ケ岳への稜線	2013年1月13日	A3	220
43		4	一輪のフシグロセンノウ/八ヶ岳黄菫	椹島/北岳大樺沢	2021年8月2日/2010年7月24日	A3	220
44	090-9023-4625	5	キタダケソウ/ハクサンイチゲ	北岳大樺沢/北岳山頂付近	2010年7月25日	A3	220
45	12	1	北岳バットレス Ⅰ	北岳大樺沢	2010年7月24日	A3	220
46	江藤幸夫	2	北岳バットレス Ⅱ	北岳大樺沢	2010年7月24日	A3	220
47		3	岩ひばり/フジバカマ	北岳山頂付近二軒小屋～西沢	2010年7月25日/2021年/8月1日	A3	220
48		4	甲斐駒ヶ岳 盛夏	北岳山頂付近	2010年7月25日	A3	220
49		5	甲斐駒ヶ岳 厳冬	小仙丈ケ岳～仙丈ケ岳への稜線	2009年1月13日	A3	220
50	090-8863-8929	6	田代池	二軒小屋付近	2021年8月1日	A3	220
51	13	1	鹿食害による裸地化 (小河内岳)	小河内岳	2013年9月21日	A3	220
52	平井隆一	2	蝙蝠尾根と富士山	塩見岳	2013年9月22日	A3	220
53		3	高嶺シオガマと赤石岳	悪沢岳稜線/易老岳稜線	2014年7月20日	A3	220
54	090-5001-4188	4	ウラシマツツジの5㎜の花	悪沢岳稜線/上河内岳	2014年7月14日	A3	220
55	14	1	みなみあるぷすはうつくしい Ⅰ	西俣林道	2021年8月1日	A2	自己負担
56	加藤高志	2	みなみあるぷすはうつくしい Ⅱ	西俣林道	2021年8月1日	A3	自己負担
57		3	みなみあるぷすはうつくしい Ⅲ	西俣林道	2021年8月1日	A4	自己負担
58	080-7007-3744	4	みなみあるぷすはうつくしい Ⅳ	西俣林道	2021年8月1日	A4	自己負担

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・写真　後藤
山行番	ＮＯ．1950
日　時	2021 年 10 月 22 日（金）晴のち曇のち雨
山　域	八ッ・西天狗岳（2626m）・西尾根周回
コース	唐沢鉱泉発 5:42―唐沢分岐 6:43―第一展望台 7:41 ―第二展望台 8:14 ―巨石帯―西天狗岳 9:03～20 ―東天狗岳 9:42 ―中山峠 10:46 ―黒百合ヒュッテ（昼食）10:50～11:24 ―唐沢鉱泉 13:28 ―唐沢鉱泉入浴（宿泊者無料）―長泉
標高差	上り・下り　唐沢鉱泉約 1870m～西天狗岳 2626m＝約 756m
快適度	５段階＝５
難易度	非常に困難　　困難　　やや困難　　レ普通　　やや易しい
今季初雪山に痺れた	
参加者	後藤、加藤、ほか２名＝4 名

前回、那須連峰周回は、前日が厳しい山で、翌日の周回が大変だった。この歳になると「連荘」（れんちゃん・これは麻雀用語）は難儀だ。そんな反省で今回の初日は、あまり知られていない、横谷（よこや）渓谷で遊んだ。赤い岩床が見事な渓谷だった。紅葉は、ちと早かった。

林の中で「コガネダケ」という見事なキノコをゲットした。余り食べられていない情報だった。ネットでは、美味しいキノコの代表とあったが・・・。キノコは未食。残念でした。

コガネダケ

横谷渓谷

渓谷で「手製キノコうどん」を食べて、今日の宿、「唐沢鉱泉」に向かった。

宿は標高が１８７０ｍと高い。従って寒い。すぐ温泉に行く。有り難い。ただ、宿は鉱泉なので、源泉は１０度という。これでは入れない。沸かしている。

それが理由かどうか定かではないが、宿代は、１２０００－＋消費税＋入湯税で高い。ま、しかし、これまで利用したことがないので、利用も良いかと思った。食事は、「美味しい」とは言えなかった。前回の那須は、安価でサイコーだったが・・・。

登山は、朝が早いので朝食は弁当。早朝、４：３０寒々しい食堂で朝食。弁当の質は良かった。

八ヶ岳の山麓風景（左・蓼科山、中央・天狗岳）

以前、白馬山荘の弁当も良かった。ただ、折角の良い弁当も冷えたゴハンは頂けない。せめて、電子レンジがあればと思った。下山して、そんな話を係りに注文したが、余り関心は無かったようだ。レンジサービスは、手間も掛からないのに・・・。

外はまだ暗かった。ランプで出発。登山道は雪・氷の世界だった。西天狗岳・西尾根の唐沢分岐に上る。同行の女子二人のランプが問題だった。

登山で３６５日絶対、必要なモノは何か。勿論、登山装備は、何一つ欠かすことは出来ない。しかし、極端な話、食料だって無くても何とかなる。我慢すればいいし、誰かに貰うことも出来る。実際、大昔、剣岳池ノ谷（いけのたん）で、食料を分けて上げたことがある。

携帯だって最悪無くても、誰かに借りることが出来る。カメラも別に無くても大丈夫。３６５日絶対必要なモノとは、「代替えが出来ない装備」をいう。

ランプ、雨具、（私はそれにトイレ・ペーパー）だ。山は暗くなると下界のように、何となく明るくない。本当の暗闇。真っ暗である。動物は別だが人間はその状況では絶対歩けない。ランプは何が何でも必携装備なのだ。

山腹は北斜面なので、既に雪・氷の世界だった。私にとって、待望の季節到来である。何故か暑さに強いが暑いのは嫌い。何故か。暑いと、それでなくとも曖昧な思考能力が更に落ちる。暑いと、曖昧模糊なのだ。特に「書く・描く・弾く」などの行為が全くダメになる。

何よりもイイのは、「汗を掻かない」。汗は登山で大敵。汗を掻かないと、エネルギーは大幅に軽減される。

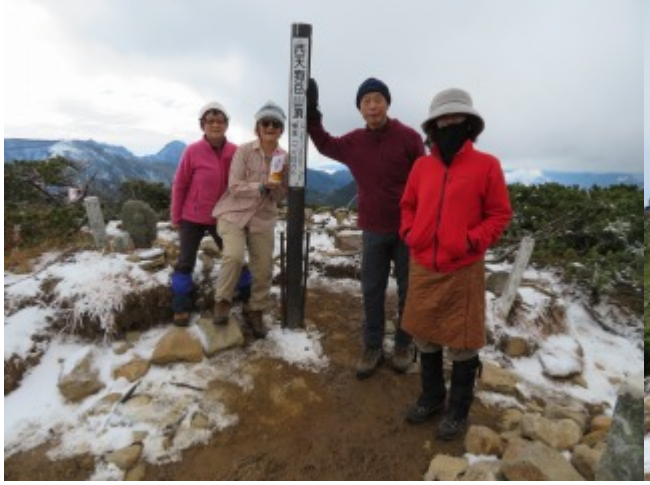
巨岩帯を上る

　分岐で小休憩。分岐から快適な尾根を上る。シラビソの林が続く。天気予報は午後から悪かったが、朝は問題なかった。キレイな青空が梢に広がっていた。風はない。しかし、蓼科は何となく黒雲が広がり始めた。赤岳も怪しい。ノー・テンキでノンビリは出来ない。
　第一・第二展望台で展望を思うがままにして、上部の巨岩帯に突入。巨岩帯は西尾根を特徴付ける場所。巨岩を縫うように上る。まともに上ると苦戦するので右端の植物帯境を行く。
　やがて頂上。雪は薄っすらあったが寒くはない。昼食はまだ時間が早い。写真を撮ったりしていると、東天狗から男性二人がやって来た。
　一人の方は、高齢の感じ。興味がありいろいろ尋ねてみた。年齢を聞いてビックリ仰天だった。最近、山で「年寄自慢」をしているが、今回は絶対、勝てない感じだった。確実に８０歳は越えていると思った。しばらく歓談。なかなか、所属山岳会を聞けなかったが、やっと地元、原村のズバリ「原山岳会」と教えてくれた。
　年齢は？？で、私は昭和２２年ですと言ったら、「昭和１１年生まれ」と教えてくれた。ガビ～ン、私より何と１１歳先輩だった。つまり現在「８５歳！！」凄い・驚異・考えられない・こんな方もいるのだ。その辺のハイキングではない。曲がりなりにも、雪がある八ヶ岳である。
　昨日は、黒百合ヒュッテに泊まったという。今日は、これから我々が上った西尾根を下るという。お顔を見てもシワもない。言葉も明瞭。ハッキリしている。世の中は広い。こんな方もいらっしゃる。帰ってネットを見たら、「長野県山岳協会顧問・清水　澄さん（８５歳）だった。
毎年、６月第一日曜日、阿弥陀岳で開山開き・安全登山祈願を行っているとネットにあった。イ

清水さん

イ方と巡り合った。このような大先輩が頑張っているのを見たら、まだまだ、ボケることは出来ない。しばし歓談後お別れした。

　東天狗岳に寄って黒百合ヒュッテに下る。積雪時はイイが少雪期ゴロタ岩が多い、このコースは好きでない。兎に角、歩き難い。閑散なヒュッテで昼食。空腹で美味しかった。Ａさんは、ヒュッテでコーヒーを購入した。食後下る。下山道は更に最悪。延々と続くゴロタ石に薄っすらと雪が載



山頂

東天狗

東天狗岳

ボンダラゲー（山形弁でツララ）

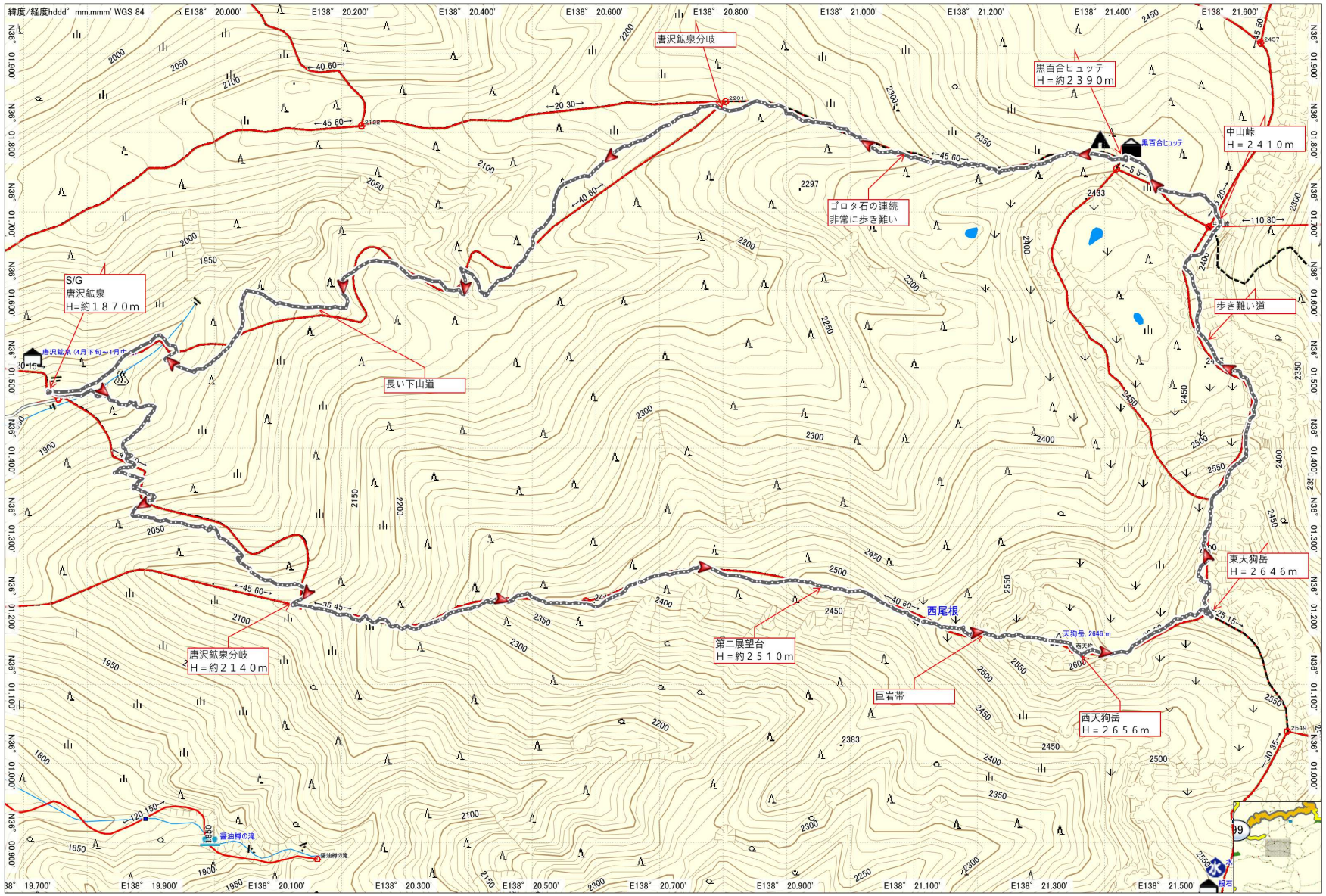
新雪に紅葉　　昼食

池の氷紋

っている。夏でもイヤな道が更に悪い。特に傾斜がある渡し板は酷い。慎重に足を進める。しかし、女性三名は案外しっかり下っている。下り方が上達したようだ。

　唐沢鉱泉分岐から、道は幾分良くなった。その代わり、先ほどまで我慢の限界だった空から「アラレ」が落ちて来た。上部は雪だろう。カッパを着込んだ。こんな風に山は冬に向かう。唐沢鉱泉は、宿泊者は無料で入浴できた。下山して間髪を入れず入浴は贅沢過ぎるね。

（了）



Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014

2021/10/24 13:39:58

0 m 100 m 200 m 300 m 400 m

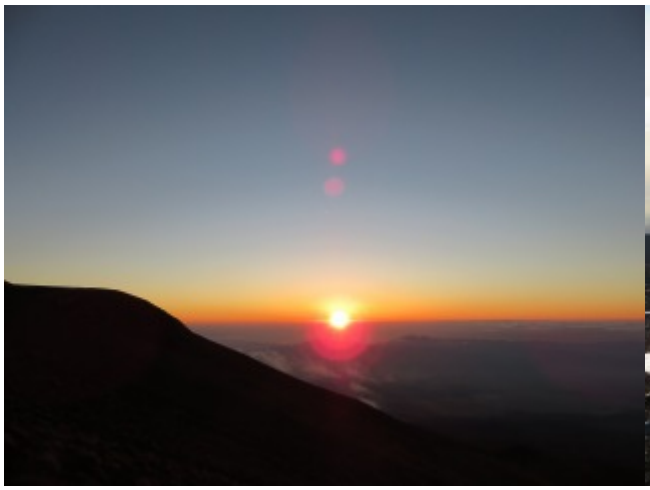
GARMIN.

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・写真　後藤
山行番号	ＮＯ．1952
日　　時	2021 年 10 月 30 日（土）晴・無風
山　　域	富士山山頂（3776m）
コース	富士宮口･五合目発 5:14 ー八合目 8:14 ー九合目･萬年雪山荘 9:05 ー九合五勺 9:48 ーブル荷上げ道ー山頂 11:11～40 ーブル道ー九合五勺ー日沢ー七合目 12;54 ー五合目 14:10 ー長泉
累計標高差	上り・下り　五合目約 2350m～山頂 3776m＝約 1426m
快適度	５段階＝５
難易度	非常に困難　　困難　　レやや困難　　普通　　やや易しい
富士山は、何度上っても厳しい	
参加者	後藤、加藤、井上＝3 名

この時期、毎年、富士山頂に上る。手軽で一番行きやすい雪山は富士山だ。道路が通行止めになる前に速やかに上る。（今年は、１１/１０で通行止めになった）しかし、加齢と共に年々、厳しくなる現実。

三名で金曜日から出掛ける。天気は良かった。五合目に上がる。モーレツに寒い。ガッチリ着込んで、早々にテントに入りチビチビ。ようやく体が温まった。夕餉は、味噌仕立ての鍋。

野菜は、私の畑のハクサイ・ダイコン・シュンギク・ほか購入物のシイタケなど。夕食が終われば寝るしかない。１９時ころ寝てしまった。夜半、ガキどもが駐車場でおしゃべり。五月蠅くて堪らない。我慢の限界で漸く退散。



日の出

土曜日４時起床。モーレツに寒い。テントが凍っていた。車のフロント・ガラスもガジガジ。マイナス１０度くらいか。鍋を温め持参したゴハンに掛けてオジヤをいただく。なかなか腹に収まらないが、無理やり押し込む。でないと歩けない。

この時期、雪は多い

５時１４分登山開始。試練が始まった。まだ夜が明けない真っ暗。ズリズリのスコリア（火山礫）を上る。新六合を過ぎると早くも雪が出て来た。兎に角、今年は積雪が早い。雪はカチンカチン。本六合下でアイゼンを履いた。その方が安全で速い。

二人でグングン上る。ただ、若手のＩ君が不調。彼は私より二回り若い。今日は、たまたま彼の母君の誕生日。そして、彼は１０回目の富士山登頂を目論んでいた。しかし、どうしたことか、体がいうことを利かない。えええ～、こんなことある？？！！原因は鍛錬不足ようだ。

彼の前回の登山が１０月２日のキノコ狩り。約一か月山に行ってなかった。その間、我々は、石裂山、那須１０時間周回、西天狗岳・西尾根周回、ほかと、やや厳しい山をやっている。いくら若いとはいえ、鍛錬不足は否めない。

ただ、我々は那須・西天狗は平日山行。仕事がある方とは一緒に行けない。しかし、休日はある訳だから、それはそれで工夫して臨むべき。私は大昔、車が無くてバイクで丹沢などよく行ったものだ。人間、その気になれば、何でも出来る。

Ｉ君はマイペースで来て貰う。七合付近で脇腹が痛くなった。朝はトイレを済ましたが、最近では珍しい。小屋の裏で用を済ませた。そのままでは、申し訳ないから。全て回収した。天気は相変わらず安定していた。風はなく温かかった。

富士山・富士宮口は八合までが特にキツイ。富士山は、というか、高山は３０００ｍがキツイラインといわれる。科学的根拠は、不明だが、恐らく、日本の山岳は富士山以外、３０００ｍ多いからだろう。

３０００ｍ以上の経験が少ないから、それ以上の富士山の標高は厳しいとなる。八合目は約３２５０ｍ。確かにキツイ。これを越えると、九合～九合五勺～山頂となり気持ち的・精神的にグッと楽になる。（あくまで気持ち・精神）肉体は当然、厳しい。

この辺りは、登山者が「サッサ、サッサ」と上っている人は皆無。概ね全員、下を向き黙々と牛歩の如く上っている。大げさにいえば、「三歩上って、二歩下がる」の感じなのだ。ま、これも仕方がない。

九合五勺

漸く九合五勺に来た。標高は約３６００ｍ。あと約一時間。今年、６月５日に上った記録に比べると約３０分速かった。ルートはここで直上ルートとブルトーザー・トラバース道に分かれる。

Ｉ君に、「ブル道を行く」と伝えてあるので、予定通り進む。ブル道は、歩き易かった。殆どの登山者は、このルートを知らないので、直上ルートを上る。ブル道は少し速く楽。剣ヶ峰が見えた。雪は多く無かった。風が強いので飛んでしまうのだ。

山頂は、今年初めてだった。６月は仲間が不調で九合五勺から一緒に下った。何回来ても山頂は素晴らしい。日本で絶対的な標高。日本では３７７６ｍの標高はここでしか経験できない。貴重な存在。山頂着。５時間５７分だった。最近の過去の記録は・・・。

２０１６年０５月０８日（６９歳）・・・・・・５時間２９分

２０１７年０５月２０日（７０歳）・・・・・・５時間１４分
２０１８年０５月１２日（７１歳）・・・・・・５時間４９分
２０１９年０６月１４日（７２歳）・・・・・・５時間１２分
２０２０年・・・・・・・・記録なし
２０２１年０６月０５日（九合五勺まで）・・・６時間１２分（この時間は仲間の記録）
２０２１年１０月３０日（７４歳）・・・・・・５時間５７分

こうして記録を見ると、勿論、春・秋とメンバーで条件は違うが、年齢を重ねても案外、大きな差がある訳でもないことが分かる。果たして、８０歳まで頑張れるか？？！！

山頂は近い

山頂に着いた。５時間５７分。かろうじて６時間を切った。毎回、苦しい登山。富士山で楽な経験はない。陽だまりで昼食。ムスビはカチカチでダメ。相方のサンドイッチが辛うじて喉を通った。ビアを一本やった。風が無く有難い。

Ｉ君にメールを入れる。八合まで上ったの連絡。その後、九合五勺から再メールで「九合から下山する」と返信が来た。無事でよかった。ズック履きのランナー三名と交流。上りは２時間半といった。荷物を持たせて貰ったが片手で持てた。勿論、ピッケル・アイゼンはない。「この天気でなければ上れなかった」という。以前、宝永山でトーキョーのランナーと交流して、サンダル履きの女子がいたと話したら、「あ、〇〇チャンだ」と知っていた。

ランナーチーム

　次に上って来た男性の靴は、革靴にワンタッチ・アイゼンを装着していた。革靴のフロントは、そのままでＯＫ。テールに金具を付けていた。金具は「ゴロー」で購入出来るそうだ。これは革靴の方は朗報だろう。

革靴ワンタッチ・アイゼン（ちょっと分かり難い）

　山頂で３０分ほど滞在し下山。当たり前だけど下山は楽だ。九合五勺までブル道を下る。丁度、ランナーも富士宮鳥居から下って来た。ここから、我々は６月スキーで滑った日沢を下る。日沢

日沢を下る（もう少しでスキーが可）

も知らないと下れない。多くの方は登山道を下る。先に何処かのオヤジが一人下っていた。ピョンピョン速かった。結局、日沢は頂上から五合目まで２時間半だから、速いは速い。やっぱり富士山は、積雪期に上るべきだ。

五合目でＩ君と合流。３０分前に下ったという。九合五勺の滞在中、他の登山者と交流をしたという。スキーヤ―もいたという。まだまだ、完璧な積雪でないが、多少、板の犠牲を我慢すれば、滑れるは滑れるだろう。

今回の富士山は、マアマアだった。次回はランナーのように、もう少し軽快に上れれば、サイコーと思うのだが・・・。

Ｉ君のコメント

九合までの時間は前回 3 時間 44 分でしたが、今回は 4 時間 35 分でした。さらに登っていたら前回よりひどい下山困難になっていたと思います。

昨日は、気持ち悪く、吐きそうで、頭はクラクラし、5 歩歩いては、立ち止まっていました。たちどまると息が激しくなり、動いている方が楽なのに 5 歩しか歩けず最悪でした。

反省としては、体作りができてなかったことです。1 か月ぶりの登山でそれも前回・前々回はキノコ採りだったので、ちゃんとした山は 3 か月ぶりでした。夏の猛暑と雨、仕事の残業と言い訳材料ばかり。自業自得です。（了）

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・合谷　　写真・後藤
山番号	ＮＯ．1953・54
日　時	2021 年 11 月 03 日（水・晴）～04 日（木・晴）
山　域	長野県青木村・子檀嶺岳（こまゆみだけ・1223m）、夫神岳（おがみだけ・1250m）
コース	11/03　長泉 5:20 ー青木村・道の駅 9:57 ー発 10:00ーゲート 10:35 ー村松西洞登山口 10:48 ー山頂（昼食）12:03～13:03 ー登山口 14:04 ー道の駅 15:09 ー田沢温泉「富士屋」（泊） 11/04　宿発 8:00 ーまるベリーキャンプ場発 8:21 ー林道終点・登山口 9:00 ー山頂 9:48～10:05 ーキャンプ場 10:56 ーカモシカ・スポーツー長泉
標高差	子檀嶺岳　道の駅約 525m～子檀嶺岳 1223m＝約 698m 夫神岳　　キャンプ場約 730m～夫神岳 1250m＝約 520m
快適度	５段階＝５
難易度	非常に困難　　困難　　やや困難　　レ普通　　やや易しい
青木村の里山、二山に上る	
参加者	後藤、加藤、合谷、星＝４名

今回の山行で信州 100 名山の子檀嶺岳（こまゆみだけ）と最初の計画では予定していなかった夫神岳（おがみだけ）の青木村の里山 2 山に登りました。今回は私が 7 月に購入した新車（トヨタ RAV4 PHV・600 万円）で往復し、新車購入後初めての長距離ドライブとなりました。

11/03　子檀嶺岳

長泉を 5 時 20 分に出発し、途中富士 IC で加藤さんをピックアップ、新東名、中部横断道、中央道、長野道を使い、安曇野 IC から R143 を通って 10 時前に青木村の道の駅に到着。道の駅からは鋭い台形の特異な姿の子檀嶺岳が一望。山は紅葉真っ盛りである。

子檀嶺岳は山岳信仰の山で、「日本山名総覧」の中の「難読山名一覧」の 112 山の一つに挙げられている。

子檀嶺岳

夫神岳

天気は快晴。11 月初旬なのに夏のような暑さで、防寒対策をしてきたが、その必要は全くなさそうだった。従って軽アイゼンは車においていくことにした。ルートは道の駅を出発点として村松西洞登山口から山頂に登り、統合管社登山口へ下って道の駅に戻ってくる時計周りの周回コースを選択。

道祖神

村松西洞登山口

10 時、道の駅を出発。登山口へ向かう途中の民家の庭に赤い実をたくさんつけた夏芽（ナツメ）の木があった。夏芽の実は漢方薬にも使われ、栄養価も高いらしいが、私は食べたことはない。さらに進むと男女の仲睦まじい道祖伸が我々を出向かえてくれるように道端に立っていた。

少し進むと林道入り口のゲートに到着。林道を登っていくと 10 時 50 分に登山口に到着。登山口から登りが少し急になったが、登山道は整備されており、まるで落ち葉のじゅうたんを歩いてようで非常に気持ちがいい。

（周りは「入山禁止」の看板が多い。入札で得たマツタケ山。場所・規模・質もあるが、ネットでは、１期３年契約という。一番人気の山は、一期１００万。ネットの方は、三番人気で３０万という。一説には、何千万の山もあるという。

しかし、それだけ投資をしても必ず報われる訳ではない。ただ今年は、大豊作だったという。昨年は、全くダメ。自然が相手だから、なかなか難しい。だけど止められない？？！！）

子檀嶺岳

マツタケ山

さらに登っていくとだんだんと紅葉した木々が多くなり、本当に素晴らしい紅葉を堪能することが出来た。（右手には大きな岩壁があった。この岩壁は、道の駅からも確認できる大きなもの）

しばらく登るとさらに急登になる。急登を登り終わると 12 時過ぎに山頂に到着した。山頂には祠があり、そこで昼食を取った。

（頂上には既に２名の方がいた。１名は若い方で、我々が下る反対側から来たという。１名の年配の方は、下に足立 NO の車を置いてあった方。この方は、６０歳から登山を始めたという。組織に入るのを嫌い、単独で上っているという。昨日は八ヶ岳に上った。明日はどうするのと聞いたら、「もう、たぶん、帰る」だった）

山頂　　左・足立のオジサン、右・若い衆

それにしてもこの山頂からの展望は素晴らしかった。360°展望が開けており、北西に北アルプス、北に菅平、南に八ヶ岳、東に浅間山が見えた。

（昼食を摂っていると三人の男の子を連れた家族が上って来た。若い方だが、山を知っているようだった。写真を何枚か撮って貰った。「なるべく、皆さん中央に集まって」といわれた。何でも端の方は、レンズの歪みで「美人に撮れない」という。本当かなァ。そこまで考えたことはないと思った）素晴らしい展望をバックに記念写真を撮り、13 時に下山開始。

可愛いポニーちゃん

やっぱり良く撮れている？？！！後ろは浅間山

急なジグザグの登山道を下って、30 分程進むと旧鳥居跡の看板があるところに出た。さらに 30 分程下り、14 時に当郷管社登山口に到着。（この辺も、マツタケ山が多い）

そこから舗装路を下っていると、ポニーが我々を見て何かもらえるかと思ったのか柵の所まで寄って来た。だいぶ年配のポニーのように見えたが、人懐こくて可愛い。加藤さんが持っていたリンゴを恐る恐るポニーに与えると美味しそうに食べていた。

ポニーと別れてしばらく下ると子檀嶺岳の特異な台形の姿がよく見えるビューポイントとなった。

さらに下り、大きな御神木のある阿烏川神社で休憩し、15 時にスタート地点の道の駅に到着した。天候にも恵まれて、素晴らしい紅葉と展望が楽しめたいい山行であった。

象徴的な子檀嶺岳

11/04　夫神岳

もともと登る計画はなかったが、昨日に子檀嶺岳の南側にある夫神岳を見て、もう来ることもなさそうだし、せっかくだから、登ろうということになった。

夫神山

青木村の HP によれば夫神岳は「雨乞いの山」として名高く、山頂には「九頭竜とイザナミノミコト」を祀った二つの祠があるそうだ。8 時に宿泊した田沢温泉の富士屋を出発し、15 分程で登り口の「まるベリー（何故かひらがな表記。マルベリーは桑の実の意）オートキャンプ場」に到着。

（実はこの青木村は、私が住んでいる、長泉町と姉妹都市だった。何故だが、HP では明確な位置づけはなく、何となくみたい。青木村の田沢・沓掛温泉の施設利用には、一回・３、０００－の割引がある。（年一回・連泊６、０００－割引）
それに気が付いたのが、出かける前日１５時で、急いで役場に行き手続きを済ませた。役場も前日だったが、イヤな顔もせずやってくれた。ただ、今回のメンバーで、町民は私だけなので仲間には、ちょっと申し訳なかった）

富士屋旅館

キャンプ場に駐車して、8 時 20 分に登山開始。キャンプ場の標高が 730mあり、頂上までは 500m程の登りである。林道を 40 分程登っていくと「夫神岳山頂あと 600m」の看板があった。
登山道に入ったが北面のせいか日当たりが悪く昨日ほどは暑くない、しばらく緩やかな斜面登ると急登になり、急登を登り終えると 9 時 50 分に山頂に到着した。
山頂には 2 つの小さな祠があり、木々が生い茂っていて視界が悪く昨日の子檀嶺岳のような展望はなかった。

誰が一番怖い？？やっぱ、あの方！！

15 分程休憩して、同じルートを下ったが、途中に朴葉がたくさん落ちている場所があったので、皆で朴葉のお面の写真を撮った。10 時 55 分に「まるベリーオートキャンプ場」に到着、登り 1 時間 30 分で下り 50 分の行程であった。その後、青木村の道の駅に行って産直の野菜を買った。

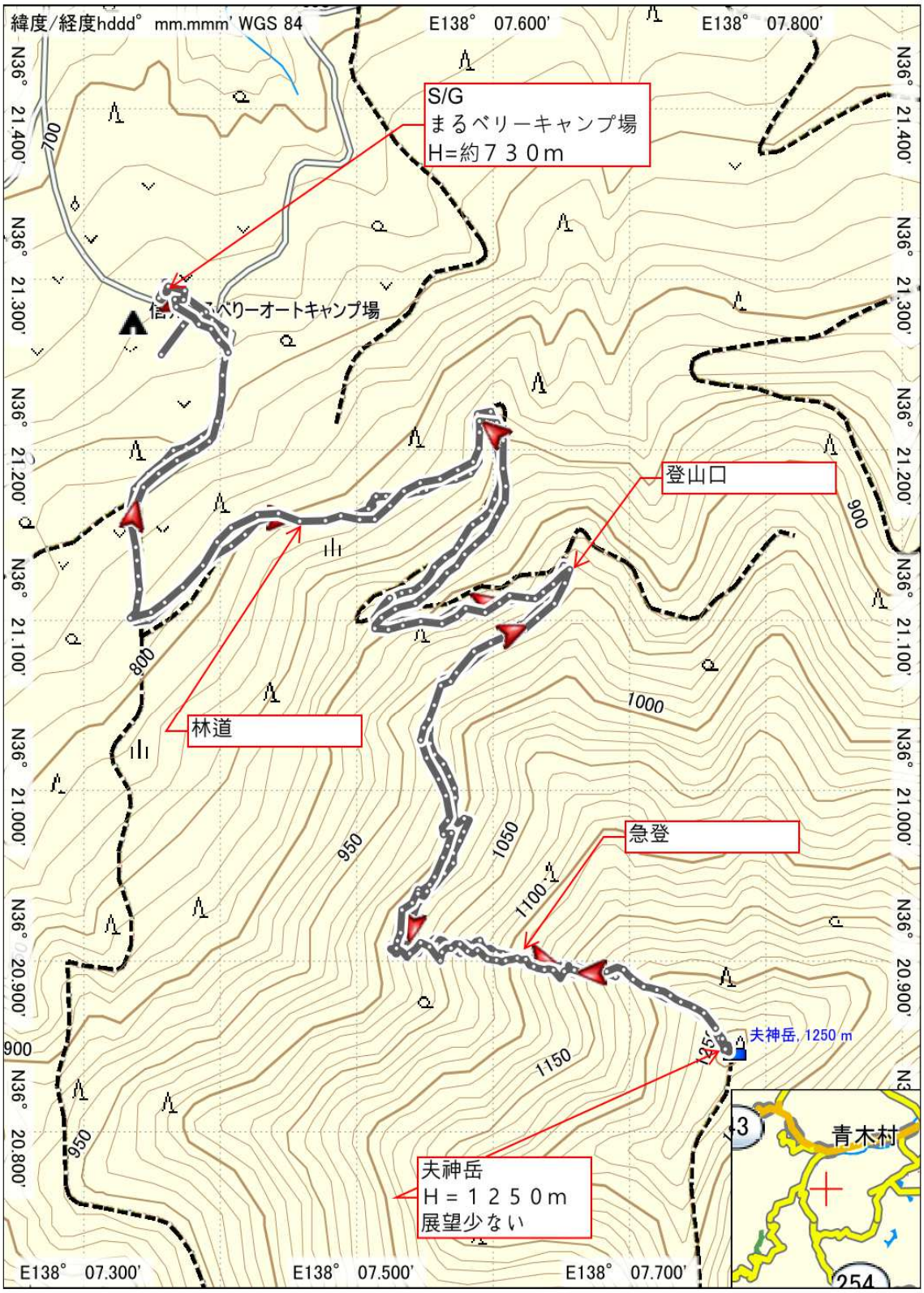
（復路は、往路のＲ１４３が狭くて難路だったので、麻積（おみ）ＩＣへの道を辿った。ただ、２万５千図を見ると、難路のＲ１４３は主道路の赤表示、後者は細い線の薄色。どう見ても後者が良い道だが、実際と地図表記が違う。何故？？

途中、弩田舎に鉄道が走っていた。「篠ノ井線」だった。この鉄道は、塩尻から長野市・篠ノ井駅を結んでいる。全長７０Ｋｍ弱で駅数は１５。よく存続しているものだ。私は最初、大糸線と勘違いしていた。多分、一度も乗っていない。廃線？？！！になる前に乗りたいね）

「文中（　　）の部分は、後藤が担当しました」

子檀嶺岳遠望

緯度/経度hddd° mm.mmm' WGS 84
感じの良い下り
紅葉が素晴らしい
この辺り
マツタケ山
子檀嶺岳
H=１１２３m
展望素晴らしい
登山口
急な上り
紅葉が素晴らしい
ポニーがいた
牧場
登山口
林道
S/G
青木村「道の駅」
H=約５２５m
青木村
Japan Topo 10M Plus V3
2021/11/05 6:54:23
GARMIN



Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014

0 m 100 m 200 m 300 m 400 m

MN TN
-7.3°
2010/01/01

2021/11/05 6:54:23

GARMIN.

山行報告　（沼津労山・鈴木さまから提供していただいた原稿です）

山行名	東部ブロック交流ハイク	目的地	沼津アルプス（沼津市　大平山～香貫山縦走）
実施日	2021 年 11 月 7 日（日）曇	参加者	あさぎり 6 名・三島 4 名・沼津 6 名　計 16 名

＜コースタイム＞
沼津駅（東海バス 3 番）7：05 ―バス―多比 7：35 ―多比バス停―多比口峠 8：10 ―大平山 8：20 ―多比口峠 8：40 ―鷲頭山 9：00 ―志下坂峠 10：40 ―徳倉山 11：25 ―東部ブロック集合 11：30 ―交流会 11：55～12：35 ―横山 13：50 ―香貫山 14：30 ―黒瀬 15：00 ―沼津駅 15：30　（バス代 490 円）

前日までの天気予報では、晴れマーク有。安心していたが、当日雨、中止か実行かと焦るが、天気予報を信じ実行とした。出鼻を挫かれた山行が始まった。
沼津駅に着くころには、雨が上がり、曇天だが、西の方に晴れの兆しが見え、一安心。意外にも、山道は、泥濘はなく、乾いているところもあった。

集合には、沼津労山が一番遅くの到着となり、他の会は、もう昼食を食べていた。本当は、グループに分かれて、食事をとりたかったが、まあコロナだしと思いあきらめた。

12 時から、参考記念のマスクを分け 3 グループに分かれ、自己紹介等をし、チョコ争奪戦をしたりして、交流を図りました。少しは、他の会のことを知れ私としては、上出来でした。皆さま、ご協力ありがとうございました。

（沼津労山　鈴木）

日本勤労者山岳連盟
静岡県勤労者山岳連盟・東部ブロック
裾野麗峰山の会（愛称・れいほう山の会）
会報「れいほう」
第２７期・９巻　　２０２１・１２月号　　NO.２４４
連絡先　静岡県駿東郡長泉町下土狩 1541-12　徳山荘
090-8956-9990　　055-986-6075
HP　　http://susono-reihou.babyblue.jp/
mail　　takanori_reihou8888@yahoo.co.jp

10/30　富士山頂